

ななーる通信

ななーる訪問看護ステーション [email info@nana-r.jp](mailto:info@nana-r.jp) [URL http://nana-r.jp](http://nana-r.jp)

「困った人」は 「困っている人」

新しい年が始まりました。今年もよろしくお願いたします。コロナ禍に振り回されてから3回目のお正月です。みなさんもできるだけ密にならぬよう対策をしながら初詣などお出かけをされたことと思います。

ところで外出時、バスに乗るときに困ったことはありませんか？ 私は昨年から自家用車をやめて、外出には公共交通機関を使うことが多くなりました。そこで戸惑うのがバスの料金支払いです。先払い、後払い？おつりは出る？など。利用するのはほぼ京都、大阪のバスなのでもう覚えました。ほぼ交通系のICカードの「ピッ」で払えるので困るケースはあまりありません。でも残金が足りなかったり、手持ちの小銭で払うなどのイレギュラー対応にアタフタします。

かつて仕事で全国各地の病院に行っていたときは、初めての土地でのバス移動はかなり難関でした。まずはバス停がわかりづらいのです。大きな交差点だと同じ名前のバス停が4つあったりします。それを間違えた時点で目的地にはつきません。間違いなくバスに乗ることができても、先払いでしかもICカードが使えないなんてことがあるとのっけからアタフタです。さらに



バス停の名前も難しい。「〇〇病院入口」と「〇〇病院前」というバス停が並んでいてどちらで降りていいかわからなかったり、バス内のアナウンスが聞こえないこともあるので、神経を研ぎ澄ましておかねばなりません。目的のバス停に着いたことに気が付いてあわてて降りようとしたときに限ってICカードが使えなくて小銭を出さねばならず、あせるあまりに小銭入れからバラバラと10円玉が落ちる……なんてこともありました。

そうすると周りからは冷たい視線を感じます。「最初から降り口に近づいておけばいいのに」「小銭くらい先に準備しとけよ」「そんなことしてるからバスが遅れるんだよ！」という無言の圧力に押し出されながらバスを降ります。バスを降りてトボトボ歩きだすと、動き出したバスからさらに「本当に困った人だよ」と聞こえる気がしました。

いや、違うんです！ 私は「困った人」ではなく「困っている人」なんです！ 見知らぬ土地で、初めてのバスに乗り、慣れていない支払い方法に

